

2005年3月24日 18:40 WIRED NEWS (2005/03/24)

世界最速の『ブルー・ジーン』スパコン、毎秒 135 兆回を達成■

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050324302.html>

米ローレンス・リバモア国立研究所は、米 IBM 社製で世界最速のスーパーコンピュータ『ブルー・ジーン L』を拡張し、演算能力を毎秒 135 兆 3000 億回(従来は同 70 兆 7200 億回)に強化したと発表。ブル

ー・ジーン L は昨秋、NEC の『地球シミュレータ』(同 35 兆 8600 億回)を抜いてトップに立ったが、一段と差を付けた。

2005年3月24日 10:00 日刊航空通信CLIP

航空機産業の世界シェア15%に拡大目指す

JAXA長期ビジョン、極超音速機開発も視野

JAXAは、このほど今後20年間の日本の宇宙開発利用と航空研究開発のあるべき姿、望ましい姿を描いた長期ビジョン(案)を策定したが、このなかで航空研究開発については、「航空産業の成長と航空機による国民の利便性の向上」を大目的とし、(1)わが国航空機産業の規模を現状の世界シェア3%から20年後の市場において15%に拡大、(2)日本から太平洋周辺国まで2時間以内で結ぶ極超音速機技術実証を目標に掲げていることが明らかとなった。

こうした目標に向かって、JAXAは「国産ブランド旅客機の開発による市場獲得とアジア域への展開、優位技術による国際共同開発における主導的地位の獲得」が基本的に要請されると考えている。

そこでJAXAは、目標達成には、第1に、間もなくゴーアヘッドしようとしている「国産ブランド小型旅客機の開発」を通じ、高付加価値技術による国際競争力の獲得を図ることが肝要としており、航空機開発・就航サイクル全体にわたる技術開発、そして環境適合性、安全性、運航自在性、快適性に焦点を絞った技術開発で世界に先行することを目指す。

第2は、「超音速／極超音速機技術の研究開発」を推進することによって、将来航空輸送のブレイクスルー技術の創出を期したもので、静粛機体設計、低公害高速推進システム、耐熱複合材構造など世界をリードする先進技術の創出を図る。

このような基本戦略にもとづく今後のロードマップとしては、5年後

の2010年頃までに複合材、アビオなど高付加価値技術を用いた第1世代国産ジェット旅客機により国際市場へ参入するとともに、静粛高速研究機による先進的機体設計技術の実証および高速推進システム研究開発を推進する。

そして10年後の2015年頃までに低騒音化技術、低燃費化技術、安全性向上技術などを備えた「人に優しい旅客機(第2世代の国産旅客機)」開発を実現させ、併行してマッハ2クラス超音速輸送機技術を実用化レベルにまで成熟させる。

さらに20年後の2025年前後をめどに、IT飛行技術を駆使した「インテリジェント旅客機(第3世代国産ブランド旅客機)」の実現に向けた技術開発を狙うとともに、液体水素を燃料とすることにより、高いエネルギー効率と炭酸ガスを排出しないマッハ5クラス無人極超音速実証機の飛行実証を期する。

JAXAは、こうしたビジョン策定後、関係各方面、特に政府が策定する国家戦略や各種の基本計画に政策として反映されていくことを期待している。

2005年3月23日 19:01 WIRED NEWS (2005/03/23)

使える「不良品」チップでコストダウン？

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050323103.html>

マイクロチップ製造は非常に基準が厳しく、ごく小さな欠陥があるという理由で、各メーカーは全生産量の 20%から 50%を廃棄またはリサイクルしている。しかし、こうした「欠陥」は通常の利用では問題になら

ないものも多いので、その中から十分に使えるチップを特定し販売すれば製造コストを大幅削減でき、家電価格も下がると、南カリフォルニア大学教授が提案している。

2005年3月22日 19:30 WIRED NEWS (2005/03/22)

凍った天然ガス「メタンハイドレート」:米で採掘調査開始

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050322305.html>

海底に大量に埋蔵されており、新エネルギー源として注目されているメタンハイドレートは、低温高圧下で、凍った水の結晶にメタン分子が閉込められた「燃える氷」だ。ブルックヘブン国立研究所の研究者

らが最近、高圧・低温状態を再現する卓上の研究装置完成を発表したほか、今月には探査船が水深約 1300m からサンプルを収集するという史上初の試みが行なわれる。

2005 年 3 月 22 日 19:30 WIRED NEWS (2005/03/22)

ID 窃盗だけではない、個人情報販売の大問題「誤情報」(下)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050322106.html>

社員採用などに使われる個人情報販売企業(データブローカ)のデータに誤情報が少なくないことが判明し、問題となっている。たいていのデータブローカは、ずさんにも同姓同名の人の区別をしていな

いため、赤の他人の犯罪を自分が犯したことになっているケースもあるという。しかも、データの修正は容易ではない。

2005 年 3 月 22 日 19:30 WIRED NEWS (2005/03/22)

宇宙への招待(4): 有人火星探査には「国民の熱狂」が必要

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050322307.html>

人類の宇宙への進出を支えるキーファクタは何か。国家プロジェクト、リーダーシップ、研究者、冷戦、国際関係。こうしたものは、実は決定的な要素ではない。莫大な予算が必要な宇宙開発で、何よりも必要

なのは資金。そしてその予算規模ゆえに、宇宙開発の推進には、国民、つまり納税者の熱い支持が必要だ。

2005 年 3 月 21 日 17:10 【航空宇宙情報】ジェダイ・メール

M5 ロケット組立て公開 来年度天文衛星打上げ

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050314-00000058-kyodo-soci>

宇宙への招待(3): 民間有人宇宙飛行が示してくれたもの(上)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/technology/story/20050314307.html>

宇宙への招待(3): 民間有人宇宙飛行が示してくれたもの(中)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/technology/story/20050315308.html>

宇宙への招待(3): 民間有人宇宙飛行が示してくれたもの(下)

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/technology/story/20050316308.html>

まいど 1 号: 人工衛星開発推進で功績の青木豊彦さんに感謝状――東大阪市

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050315-00000170-mailo-l27>

国産有人宇宙船 20 年以内に、東京―ロス2時間飛行も

http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050317-00000101-yom-bus_all

野口飛行士 インタビュー「自分の帰還が一番の記念品」

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050317-00000013-maip-soci>

土星衛星・エンセラダスに大気、NASA 探査機が発見

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050317-00000213-yom-int>

信頼性高い中型衛星中心に＝相次ぐ失敗で報告書－文科省宇宙開発委

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050318-00000764-ijj-soci>

国際宇宙ステーションのジャイロスコープ故障は脅威でない＝米 NASA

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20050318-00000557-reu-int>

―< 書籍紹介 >―

★『キューブサット物語～超小型手作り衛星、宇宙へ』川島レイ (著)

「上がれ! 空き缶衛星」の川島レイさんの最新刊。超小型衛星「キューブサット」。取組む大学生たちの3年半を追うドキュメント。

<http://members.aol.com/JEDlibrary3/20050321-1.html>

★『上がれ! 空き缶衛星』川島レイ(著)

熱い思いと仲間がいれば、きっと上がる! 日本初の超小型衛星プロジェクトに青春をかけた工学部大学生たちの一年間の記録。机上でしか宇宙を知らなかった学生たちが突然、小さな人工衛星を作ること

<http://members.aol.com/JEDlibrary3/20050321-2.html>

2005年3月22日 10:00 日刊航空通信CLIP

ボンバルディア取締役会、CシリーズのATOを承認

110~130席クラス新型機、年内ローンチ目指す

ボンバルディア社は、15日の取締役会で同社傘下のボンバルディア・エアロスペース社による110~130席クラス新型ジェット旅客機「Cシリーズ」ファミリーのカスタマに対する提案権限(ATO: Authority to Offer)を承認したと発表。同社は、今回のATO付与はプログラム・ローンチに向けての重要なステップであり、潜在的なカスタマ、サプライヤや政府当局のファーム・コミットメントを獲得することに努める事としている。

ボンバルディア・エアロスペース社は2004年2月、新型航空機プログラム担当にゲリー・R・スコット社長を任命、以来、同社長は多くの領域にわたる専門チームによる新型機開発のフィジビリティ・スタディを指揮してきた。

同社によれば、Cシリーズは110~130席クラスの市場セグメントに向けた明確なデザインの最初のファミリーで、比類ない運航経済性、信頼性、トータル・ライフ・サイクル、旅客アピールおよび将来需要に適合した運航柔軟性を持つこととなる。

現在、Cシリーズは二つのバージョン開発が計画されている。一つはC110で、110人の旅客を乗せることができ、それより大きいC130は130席となる。いずれも1,800海里の短距離区間から3,000海里の大陸間運航をこなすことが可能。両機種とも同種エンジンが搭載され、乗員トレーニング、補用部品や運航/整備面のコモナリティ

になった。資金はほとんどない。あるのは根気と体力と情熱、かき集めた皆の知恵だけ。失敗の連続、思わぬ助っ人の登場、不夜城と化した研究室。やがて、運命の打上げの日…。

が保持される。

また、C110/C130型機ともスタンダード(STD)と航続距離延長型(ER)がオフアされている。最大離陸重量はC110STDが12万600ポンド、同ERが13万3,200ポンド、C130STDが13万1,800ポンド、同ERが14万6,000ポンド。機体全長はC110が35メートル、C130が38.2メートル。

キイ・テクノロジーの一つは、複合材料を多用することで、中部胴体、後部胴体、テイルコーン、尾翼や主翼に最新複合材料が使用され、全機重量の20%が複合材料となる。加えて、第4世代の新型主翼が設計されるほか、FBW(フライ・バイ・ワイヤ)やサイド・スティック・コントロールを適用する先進フライト・デッキを開発することとしている。

同社は、今回のATO承認にともない、受注活動を積極的に展開し、本年内にCシリーズのオフィシャル・ローンチを目指す。このあと、2006年から共同開発フェーズに移行、2007年には詳細設計フェーズに入り、2008年に初飛行、2010年に商業運航を開始させることとしている。

なお、ボンバルディア社は昨年、三菱重工業にCシリーズ開発プログラムへの参画を提案してきたが、三菱重工はボーイング787共同開発プログラムとほぼ同時期となり、技術者のやりくりが困難であることなどから、参画を見送ることとしている。

2005年3月23日 10:00 日刊航空通信CLIP

川重、P-X/C-X(その4)を640億円で落札

飛行試験用1号機を製造/納期20年8月29日

川崎重工業はこのほど、「次期固定翼哨戒機および次期輸送機の試作(その4)」を落札。落札金額は640億9,620万円、納期は平成20年8月29日となっている。防衛庁技術研究本部および川崎重工では今回落札した試作(その4)に基づき、次期固定翼哨戒機(P-X)および次期輸送機(C-X)の飛行試験用1号機をそれぞれ製造することになっている。

P-X/C-Xの開発は、現有のP-3C固定翼哨戒機とC-1輸送機が平成22年度以降に所要機数を割込むため、その後継機として、13年12月より川崎重工を主契約会社に国内航空機メーカーが協力し総力を結集して開発が進められている。開発完了は23年度、開発

総経費は両機種合わせて約3,400億円を予定している。

P-X/C-X開発にあたっては、民生品、デジタル・モックアップ(DMU)等のIT技術を活用するとともに、2機種を同時開発することで開発費の削減を図っている。また、P-Xは量産を前提とした開発では世界初の採用となるFBL(フライ・バイ・ライト)操縦システム、国産開発のXF7-10エンジン、レーダ・システム、戦闘指揮システム、音響システム等を、C-Xは戦術輸送飛行管理システム、省力化搭載しゃ下システム等の新技術を採用している。さらに、これら新技術の採用とともに、ライフサイクルコスト低減のため、機体構造では主翼の一部、水平尾翼、風防など、搭載システムでは統合表示器、飛行

管理計算機、エンジン火災探知機、慣性基準装置、衝突防止装置、飛行制御計算機、ボイス／フライトデータレコーダなどのシステムの一部を共用化している。

P-X/C-Xの開発作業は、昨年1月に計画図審査を終了し製造図の作成に移行するとともに、15年度末に契約した試作(その3)による静強度試験機(01号機)の製造に入っている。また、昨年12月2日には、P-X/C-X両機種の実大模型(モックアップ)を川崎重工航空宇宙カンパニー岐阜工

場で報道公開している。

さらに、技術研究本部は、平成17年度予算案で「次期固定翼哨戒機/次期輸送機の試作(その5)」として約781億4,000万円を確保した。同(その5)では、P-X/C-X両機種の疲労強度試験機(02号機)、P-X飛行試験用2号機の調達および両機種の搭載エンジン等の調達を計画している。なお、P-X飛行試験用2号機は17年度に契約の場合、20年度中に納入することとしている。一方、C-X飛行試験用2号機は18年度に予算要求すると見られている。

2005年3月23日 4:39 Space Systems FC

NASAとNOAAはGOES-Rの取得のために新しい関係を発表

NASA, NOAA ANNOUNCE NEW RELATIONSHIP FOR GOES-R ACQUISITION

WASHINGTON - The NOAA released details concerning its acquisition management strategy for the upcoming Geostationary

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113807>

Operational Environmental Satellite-R (GOES-R) Program. NOAA (National Oceanic and Atmospheric Administration) ...

最初の西海岸バンデンバーグ基地でのATLAS Vが垂直に上段と結合(スタック)された

FIRST WEST COAST ATLAS V STACKED VERTICALLY AT VANDENBERG AFB

VANDENBERG AIR FORCE BASE, Calif. - Lockheed Martin's first West Coast Atlas V rocket has successfully completed "booster on

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113811>

stand" (BOS) operations with the flight vehicle that will launch a national security payload next year. ...

ジラット社のスペースネット子会社は拡張

GILAT'S SPACENET SUBSIDIARY EXPANDS REACH

PETAH TIKVA, Israel - Gilat Satellite Networks Ltd.'s U.S. subsidiary, Spacenet Inc., has expanded its services portfolio to

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113816>

include worldwide broadband communications services to multinational corporations. By leveraging the ...

イリジウム・コンステレーションは長期運用自己記録を更新

IRIDIUM CONSTELLATION PASSES LONGEVITY MILESTONE

BETHESDA, Md. - Iridium Satellite's constellation of low-earth-orbit communication satellites has achieved a world record of more than

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113812>

500 satellite-years of in-orbit performance. Iridium's constellation consists of 66 active ...

アレニアスパチオ社はRSC エネルギアとATV宇宙機の生産フェイズの契約を結ぶ

ALENIA SPAZIO SIGNS CONTRACT WITH RSC-ENERGIA FOR THE PRODUCTION PHASE OF THE ATV SPACE VEHICLE

ROME - As part of the cooperation agreements with Russia, Alenia Spazio and RSC-Energia have signed a ATV logistical module

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=113795>

components contract. The ATV (Automated Transfer Vehicle) is a logistical vehicle produced by ESA for ...

[国際関係・一般]

シラク仏大統領 中国一辺倒印象避ける 日本の立場にも配慮

朝日新聞 05年03月23日 朝刊 2面 4段 0907

ベトナム首相初訪米へ 5-6月 WTO加盟へ関係強化

「人権」など火種も

台湾、中国の攻撃シミュレーション 2014年台北に
ミサイル12基飛来

産経新聞 05年03月23日 朝刊 7面 5段 写図 1522

[宇宙・航空・科学]

宇宙航空研究開発機構の外部諮問委 ロケットで最終報告
専門技術者育成など

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年03月24日 朝刊 9面 2段 1935

宇宙ステーション 日米利用ピンチ!? イラン「核」阻止で
ロシアに資金出せず

読売新聞 05年03月23日 朝刊 2面 4段 1022

西安飛機工業 航空機部品受注4倍に 欧米メーカー向け

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年03月24日 朝刊 8面 3段写 1923

ブラジル エンブラエル 軍用機の売り込み強化 米向け実績でこに倍増

フジサンケイビジネスアイ 05年03月23日 朝刊 19面 3段 写 1770

ニューヨーク発 コックピット・ソリューション・インターナショナル
飛行機の仮想操縦

日経流通新聞MJ(日経テレコン21) 05年03月23日 朝刊 16面 4段 写 2167

[宇宙利用・宇宙からの観測・宇宙環境利用・宇宙実験]

NASA研究者ら赤外線使い 太陽系外惑星を初観測

毎日新聞 05年03月24日 朝刊 28面 2段 1092

[防災・環境・資源・エネルギー]

首都直下 巨大地震に備える(3)＝高速道の高架
避難誘導・事故対策が課題

読売新聞 05年03月23日 朝刊 28面 3段 図 1113

Jパワー ダム専用診断ソフト開発 巨大地震の被害を予測
安全情報を提供

日刊工業新聞 05年03月23日 朝刊 23面 3段 写 0107

[技術・産業]

スター・クラスター 超音波洗浄機3機種発売

大型ガラス基板向け

日刊工業新聞 05年03月24日 朝刊 7面 2段 写 0049

島津製作所 業務用ビデオカメラ開発

毎秒100万コマ超高速撮影

フジサンケイビジネスアイ 05年03月24日 朝刊 6面 3段 写 1518

鹿児島超音波総合研究所と鹿児島大 超音波を活用

皮膚から薬剤

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年03月24日 朝刊 1面 3段 1880

フジクラ 青森の電子機器用部品製造子会社

青森フジクラを解散

化学工業日報 05年03月24日 朝刊 9面 1段 0373

日本原子力研究所高崎研究所が確認 重粒子照射に新効果

朝日新聞 05年03月23日 朝刊 22面 4段 0974

技術連携で事業立上げ 共同受注組織の「ファイブテックネット」

中村超硬の医用切削ドリル参入

日刊工業新聞 05年03月23日 朝刊 31面 3段 0160

東北大 高抵抗の鉄系合金開発 自動車・電子機器向け

ニクロム線比1.5倍

日刊工業新聞 05年03月23日 朝刊 37面 4段 0199

レーザー濃縮技術研究組合 開発終え31日解散

放射性廃棄物、日本原子力発電が管理

日刊工業新聞 05年03月23日 朝刊 37面 3段 0203

日立ハイテクノロジーズ 測長SEM3000台を達成

記念セミナーに100人

電波新聞 05年03月23日 朝刊 6面 3段 写 0289

革新微生物工場(下)＝眠れる宝探せ 培養工夫、

模擬計算力磨く

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年03月23日 朝刊 8面 4段図 1940

ニッポンの建設技術＝大豊建設 深度70メートル遠隔操作で掘削

岩盤も可能工期を短縮

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年03月23日 朝刊 17面 4段写図 2012

民生用電子機器 2月の国内出荷額は10.8%増

日刊自動車新聞 05年03月23日 朝刊 3面 1段 0477

民生用電子機器出荷 2月実績 映像機器の好調続く

15カ月連続で増加

化学工業日報 05年03月23日 朝刊 13面 2段 表 0390

民生用電子機器国内出荷額 15カ月連続プラス

2月台数 カーDVD49%増

電波新聞 05年03月23日 朝刊 15面 3段 図 0326

2月 民生用電子機器出荷額7.7%増

日本経済新聞 05年03月23日 朝刊 13面 1段 表 1366

2月の民生用電子機器国内出荷額 15カ月連続で前年実績上回る

フジサンケイビジネスアイ 05年03月23日 朝刊 14面 1段 1762

JEITAまとめ 2月の民生用電子機器出荷額

7.7%増、15カ月連続プラス

日刊工業新聞 05年03月23日 朝刊 11面 3段 図 0079

電子情報技術産業協会 2月調査 電子機器7.7%増

民生用国内出荷額デジタル家電堅調

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年03月23日 朝刊 5面 3段 1921

[通信・放送・IT]

用語解説＝サイマル放送

電波新聞 05年03月24日 朝刊 10面 1段 0298

アンリツがシミュレータ開発 3・5世代携帯基地局に対応

日刊工業新聞 05年03月24日 朝刊 7面 1段 写 0048

[経営・人]

三菱プレジジョン 新社長に栗原昇氏

日本経済新聞 05年03月24日 朝刊 15面 1段 写 1216

三菱プレジジョン 新社長に栗原昇氏

日刊工業新聞 05年03月24日 朝刊 35面 1段 写 0222

今創人(11)＝クボテック社長 久保哲夫さん 夢膨らむ新メディア

日刊工業新聞 05年03月24日 朝刊 34面 9段 写 0207

iマイク 三菱重工業社長佃和夫さん(下)＝

三菱自工追加支援のメリットは

フジサンケイビジネスアイ 05年03月24日 朝刊 3面 7段 写 1500

iマイク 三菱重工業社長 佃和夫さん(上) =

H2A打上げ成功しましたね ロケット開発世界の一流国に

フジサンケイビジネスアイ 05年03月23日 朝刊 3面 5段 写 1704

アンテナ2社 2005年3月期連結業績 経常減益

日本経済新聞 05年03月24日 朝刊 16面 2段 1227

ニッポン放送の抗告棄却 迫られる企業防衛 敵対的買収

先手の対策急務 指針の検討進む

東京新聞 05年03月24日 朝刊 9面 6段 表 1446

会社法誕生 問われる企業統治(1) = 敵対的買収への防衛策導入

自由と責任で企業価値

日刊工業新聞 05年03月24日 朝刊 1面 5段 図 0001

JR西日本 5年計画 輸送力増強へ6600億円投資

日本経済新聞 05年03月24日 朝刊 15面 1段 1208

JR西日本 中期計画 京阪神に新駅など 6600億円投資

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年03月24日 朝刊 3面 3段 1892

敵対的M&A識者に聞く(下) = 日大法科大学院教授

弁護士 新谷勝氏 安定株主を 最大の防衛策

株式新聞 05年03月24日 朝刊 1面 4段 0768

翼をもった英国の18歳 航空会社を設立来月テイクオフ

オックスフォードーケンブリッジ20分で結ぶ

フジサンケイビジネスアイ 05年03月24日 朝刊 23面 3段 1587

日本電子機器輸入協会 中国セミナーに140人参加

日本の商社にとって今は大きなビジネスチャンス

電波新聞 05年03月24日 朝刊 5面 2段 写 0280

中国で売る 新段階迎えた中国戦略 定着めざす

日系レディス企業 商品戦略 現地企画 エリア戦略 人材確

織研新聞 05年03月23日 朝刊 11面 8段 写 0731

[\[航空輸送・エアライン\]](#)

ルフトハンザ航空 「スイス」航空を買収

毎日新聞 05年03月24日 朝刊 11面 1段 1067

ルフトハンザ・ドイツ航空 航空スイス買収

燃料高が再編後押し 次はBA・イベリア航空の見方

日本経済新聞 05年03月24日 朝刊 9面 4段 写 1171

独ルフトハンザ・ドイツ航空 航空スイス買収

一度は破談、粘り結実 欧州の空、激戦に備え

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年03月24日 朝刊 2面 5段写表 1883

スカイマークエアラインズ 今夏にも 羽田一那覇に

深夜定期便 国内線旅客31年ぶり

東京新聞 05年03月24日 朝刊 8面 3段 1437

日本航空1437便 徳島では主翼破損 点検作業中

朝日新聞 05年03月23日 朝刊 38面 1段 1004

日航機、パネル脱落 飛行中?

読売新聞 05年03月23日 朝刊 38面 2段 1140

信頼回復へ日航迷走 今度は「尻もち」「機内に煙」...

問題続発 進まぬ社内融和対応後手に

産経新聞 05年03月23日 朝刊 31面 6段 写 1586

国土交通省 方向舵脱落事故受け 国内航空会社に国交省検査指示

産経新聞 05年03月23日 朝刊 31面 1段 1590

国交省 日航に検査求める 国内線 エアバス10機欠陥の恐れ

読売新聞 05年03月23日 朝刊 38面 3段 1139

国交省 エアバス機の検査指示

毎日新聞 05年03月23日 朝刊 31面 1段 1264

中部国際空港 愛知万博マスコット機 25日から日航運航

モリコロ空を舞う

中日新聞 05年03月23日 朝刊 23面 1段 1770
